

**資料編**

**1**

**地区懇談会結果**

**小学校区別まとめ**

## 1-1 概要

平成 27 年 6 月から平成 28 年 2 月にかけて、各小学校区のコミュニティ推進協議会・福祉関係者と地域福祉について話し合う「地区懇談会」を開催し、そこで話し合われた内容をもとに、地域福祉活動の課題や地域主体の取組アイデアの意見を各小学校区別にまとめたものです。

今後、住民主体の地域福祉活動を展開する際の参考とできるよう掲載しています。

### 地区懇談会の実施概要

回数（時期）	テーマ・内容
第 1 回 （6～7月）	<b>ガイダンス、地域福祉の問題点の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣旨及び概要説明</li> <li>・各地区の地域福祉の主な問題点の説明（アンケート結果等より）</li> <li>・意見交換「各小校区における地域福祉の悩みや困りごと、問題点」</li> </ul>
第 2 回 （8月）	<b>地域主体の地域福祉活動のアイデア検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現計画の成果と課題の説明（庁内での検証結果）</li> <li>・計画骨子（主要課題、理念・目標、施策体系案）の説明</li> <li>・意見交換①「計画骨子に対する追加・修正意見」</li> <li>・意見交換②「主要課題を解決するための地域主体の福祉活動アイデアの検討」</li> </ul>
第 3 回 （2～3月）	<b>H28 以降の計画推進方策や体制等の検討</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画・地域福祉活動計画（案）の概要説明</li> <li>・意見交換①「H28 年度に当地区で重点的に取り組む住民主体の地域福祉活動の絞り込みと詳細検討」</li> <li>・意見交換②「コミュニティ推進協議会を核にした今後の計画推進の進め方や推進体制案の検討」</li> </ul>

## 各小学校区での開催経過

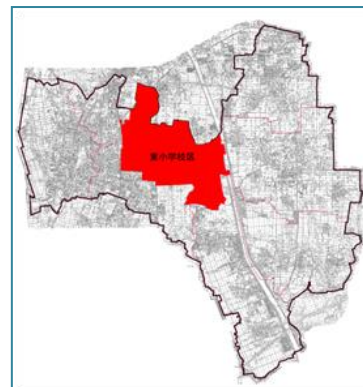
小学校区	第1回	第2回	第3回
東小学校区	平成 27 年 6月 19 日(金)	平成 27 年 8月 11 日(火)	平成 28 年 2月●日(●)
西小学校区	6月 26 日(金)	8月 17 日(月)	2月●日(●)
南小学校区	7月 1 日(水)	8月 19 日(水)	2月●日(●)
北小学校区	6月 19 日(金)	8月 21 日(金)	2月●日(●)
神守小学校区	6月 17 日(水)	8月 10 日(月)	2月●日(●)
蛭間小学校区	6月 18 日(木)	8月 20 日(木)	2月●日(●)
高台寺小学校区	6月 27 日(土)	8月 29 日(土)	2月●日(●)
神島田小学校区	6月 22 日(月)	8月 10 日(月)	2月●日(●)

## 1-2 小学校区別の結果まとめ

### 東小学校区

#### 地域の概要

- 東小学校区は、面積約 306ha で全市の 12.2%を占める。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在、10,419 人、4,180 世帯、世帯人員 2.49 人/世帯、人口は微減傾向、世帯数は微増傾向にある。
- 人口密度 34.1 人/ha で、市全体 (25.6 人/ha) より高い。
- 年齢 3 区分別人口では、0～14 歳が 13.7%、15～64 歳が 62.8%、65 歳以上が 23.5%となっており、65 歳以上の高齢化率は市全体の 26.9%に比べて低い。



#### 地域内の課題と問題点

◎：他の小学校区と同様の意見

地域福祉の課題	具体的な現状・問題点
世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり	◎近所付き合いが少なく、地域のまとまりが弱い ・アパート・マンション居住者との交流がセキュリティの高さや住民意識の低さから困難
地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保	・町内役員のなり手が少なく、また単年度で交代するため、情報、つながりが深まらない ・転入者・転出者の情報がわからない ・コミュニティ推進協議会の活動内容や組織がわかりにくい
高齢者の生活支援と暮らしの質の向上	・歩いて行ける身近な所に個人で気軽に参加し、おしゃべりできる場所が欲しい。現在のサービス施設は高齢者には使いにくい ・独居の高齢者を対象とした施策・対策の情報が伝わっていない
地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり	◎子どもがいても子ども会に入会しない世帯があり、会員数が減っている ・廃品回収を廃止したため子ども達との関わりが希薄になった ・安全な遊び場が足りない ・子どもがあまりあいさつしない
障がい者、外国人への理解促進と生活支援	・要支援者の存在がわかりにくい ・情報が得られない
災害や犯罪につよい安全安心な環境及び体制の構築	・災害時の連絡方法や避難施設に問題がある ・災害時要支援者（高齢者や障がい者等）の安全な避難が困難 ・電柱・信号機により道路が狭い、街灯・歩道が未整備など
わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実	・公的福祉ではカバーできない、日常の不安や困りごとを抱えている高齢者世帯が増加
その他	・ゴミ捨て場がゴミ収集後もちらかっている ・ペット散歩中のマナーが悪い

## 地域福祉課題を解決するための取組アイデア

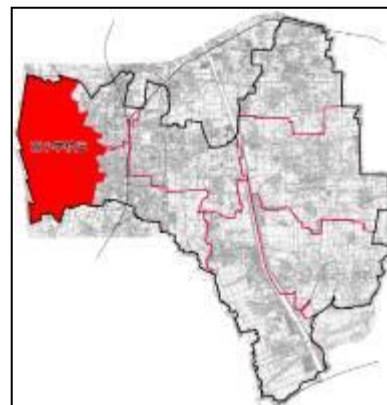
◎：他の小学校区と同様の意見

<b>世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民同士が顔のみえる関係をつくるための地域行事の開催</li> <li>・学校を通じた保護者への地域福祉に関する情報提供</li> </ul>
<b>地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし高齢者の全員を地域が名簿で把握する</li> <li>・班長会の充実や地域の集まりの夜間開催などによる参加の促進</li> </ul>
<b>高齢者の生活支援と暮らしの質の向上</b>
<p>◎地元の商店と協定を結び、高齢者宅に食事や買い物等の宅配サービスを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動、話す、健康、食事のバランス等、定期的に手帳で介護予防を支援</li> <li>・町内会などの小地域単位におけるサロンなどの交流の場づくり</li> <li>・老人会と子ども会が連携し、子どもが高齢者の自宅を訪問する活動を実施</li> </ul>
<b>障がい者、外国人への理解促進と生活支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育の推進による心のバリアフリー</li> </ul>
<b>災害に強い地域づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社会福祉協議会で子どもと一緒に AED 教室を開催</li> </ul> <p>◎消防・自主防災会・防災ボランティア等の連携による「避難所ですぐに役立つ」訓練開催</p>
<b>防犯・交通安全のための環境及び体制の構築</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみの一戸一灯運動</li> <li>・防犯と交通安全を兼ねた一斉下校時の「あいさつ」「見守り」運動</li> </ul>
<b>わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代へ民生委員の周知徹底</li> </ul>
<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出しマナーの徹底</li> <li>・ペットショップの協力を得てペットのフン処理などマナー向上やしつけ教室</li> </ul>

## 西小学校区

### 地域の概要

- 西小学校区は、面積約 330ha で全市の 13.2%を占める。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在、11,347 人、4,630 世帯、世帯人員 2.45 人/世帯、人口・世帯数ともに微減傾向。
- 人口密度は 34.4 人/ha で、市全体（25.6 人/ha）よりも高い。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在の年齢 3 区分別人口は、0～14 歳が 11.6%、15～64 歳が 58.4%、65 歳以上が 30.1%となっており、65 歳以上の高齢化率は市全体の 26.9%に比べて高い。



### 地域内の課題と問題点

◎：他の小学校区と同様の意見

地域福祉の課題	具体的な現状・問題点
世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり	◎子ども会の活動が少なくなっている ・祭りの参加者が減少、総会・運動会等、集まる機会が減った ◎高齢者と近所とのつながりが希薄 ・子どもを見かけない、遊んでいる姿をみない ・ボランティアに参加したい人はいるが、自発的に活動できない
地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保	・コミュニティ推進協議会役員の女性進出が遅れている ・民生委員一人当たりの負担が大きく、後継者が不足 ・要支援者の情報をどこで把握できるか、情報がない
高齢者の生活支援と暮らしの質の向上	・高齢者が自宅に閉じこもっている ・行事参加、病院、買い物の足がない ・バス停の間隔が遠く、高齢者の利用施設をつないでいない
障がい者、外国人への理解促進と生活支援	・個人情報への壁があり、関わって欲しくない人もいる
災害や犯罪に強い安全安心な環境及び体制の構築	・歩道が狭く、電動車椅子等の通行がしにくい ・避難場所が不明、避難ルートが危ない ・防災訓練には、直接参加を依頼された人のみが参加 ・愛西市とまたがっている地域はどうすればよいのか
わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実	・自分の担当町内以外の事を把握できていない ・子育て世代に対する支援が不足している

## 地域福祉課題を解決するための取組アイデア

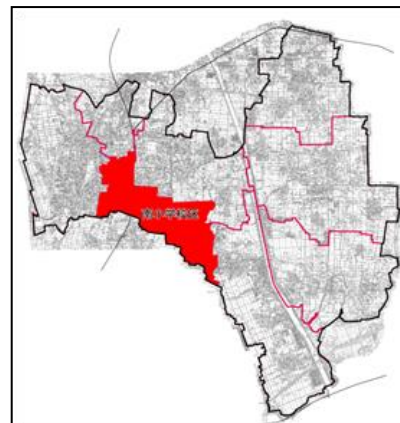
◎：他の小学校区と同様の意見

<b>世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり</b>
◎コミュニティ推進協議会（防災会館）で老人クラブと学童の交流（昔遊びを教えるなど） <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕や秋祭り、ラジオ体操など、高齢者と子どもが一緒にできる行事の開催</li> <li>・空き家を活用した居場所づくり</li> </ul>
<b>地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・江東町の「空き家バンク」を参考に、貸主負担に考慮しつつ、利用者との中立ちをする</li> <li>・若い世代の参加促進のため、開催時間帯や内容を工夫する</li> </ul>
<b>高齢者の生活支援と暮らしの質の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の協働で買い物の足を確保（コミュニティで共用車を運転代行）</li> <li>・新聞・牛乳配達等、日常的に接触のあるサービス業による安否確認の仕組みづくり</li> <li>・生きがいづくりに関する各種事業・教室の開催</li> <li>・老人クラブへの加入促進</li> <li>・ひとり暮らし高齢者のシェアハウスづくり</li> <li>・老人クラブの友愛活動の継続・拡充</li> <li>・障がい、認知症などへの知識・理解を深める講座開催</li> </ul>
<b>災害に強い地域づくり</b>
◎防災活動を町内会くらいの小単位で行う（防災訓練や自らの地域の防災マップづくりなど） <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内役員における防災委員の新設</li> <li>・危機感を持ってもらうため伊勢湾台風時の被害状況を、広く周知する</li> </ul> ◎専門家や市の支援による実践的な防災訓練
<b>わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉に関するニュースレターの発行（行政・社協の事業紹介）</li> </ul>

## 南小学校区

### 地域の概要

- 南小学校区は、面積約 212ha で全市の 8.5%を占める。
- 人口は平成 27 年 10 月 1 日現在、9,323 人、世帯数 3,899 世帯、世帯人員 2.40 人/世帯と、人口・世帯数ともに減少傾向。
- 人口密度は 44.0 人/ha で、市全体 (25.6 人/ha) よりも高い。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在の年齢 3 区分別人口では、0～14 歳が 12.4%、15～64 歳が 61.0%、65 歳以上が 26.6%となっており、65 歳以上の高齢化率は市全体の 26.9%に比べてわずかに低い。



### 地域内の課題と問題点

◎：他の小学校区と同様の意見

地域福祉の課題	具体的な現状・問題点
世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション住民と日中顔を合わせることがない</li> <li>・地域行事に参加する人と無関心な人との差が大きい</li> <li>◎新旧の世帯で遠慮があって交流がうまくいっていない</li> <li>・コミュニティ行事のPRをしても参加がない</li> <li>・普段から話し合う「仕組み」がない</li> <li>・表札を掲げていない家も多く、誰が住んでいるか分からない</li> </ul>
地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯が町内代表をやっており、機能を果たせていない</li> <li>・参加したいけれど窓口・入り口がわからない人も多い</li> </ul>
高齢者の生活支援と暮らしの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし高齢者の生活の様子はよくわからない</li> <li>・サロンなど気軽に参加出来る場が少ない</li> <li>・巡回バスの利用者が少ない</li> </ul>
地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会の会長・役員のなり手がいない</li> <li>・子ども達だけでなく、先生も声をかけないと挨拶しない</li> </ul>
障がい者、外国人への理解促進と生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人には町内会費や生活のルールについて伝わりにくい</li> <li>・放課後クラブの理解がされていない</li> </ul>
災害や犯罪に強い安全安心な環境及び体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に助ける人がいない</li> <li>・あんしん君は普及している</li> </ul>
わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の情報を得ないため、地域の集まりへの参加者が少ない</li> <li>・地域福祉懇談会の活動も住民に浸透していない</li> <li>・若い世代は、回覧を回しても見ていない</li> </ul>



## 地域福祉課題を解決するための取組アイデア

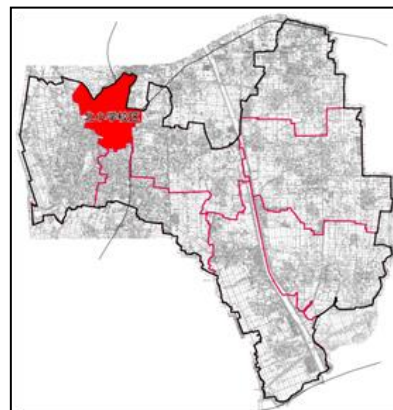
◎：他の小学校区と同様の意見

<b>世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操や餅つきなどのイベントの交流実施</li> <li>・皆ができることを広げる（近所であった人にまずはあいさつを／ラジオ体操／表札全戸運動）</li> <li>・地域内のカフェやギャラリーのような地元の人々が気軽に集う場を活用</li> <li>・地域の文化や歴史の学習会（趣味を通じて世代間交流）</li> </ul> <p>◎高齢者と子どもの世代間交流による昔遊びの指導</p>
<b>地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年後デビューを迎え入れる仕組み「お父さんお帰りなさいパーティー」の開催</li> <li>・情報の共有（かわらばんの活用、ポスター・回覧文章作成サービス）</li> <li>・地域住民同士の意見交換（様々な会合の活用）により、より良いまちづくりにつなげる</li> </ul>
<b>高齢者の生活支援と暮らしの質の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数でも人の集まれる場所を洗い出し、参加を広げていく</li> <li>・65歳以上の地域住民の誕生日に、地区コミュニティからお祝いの手紙を出す</li> </ul>
<b>地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児支援イベント開催（ママのストレッチ、子ども向け野外イベント（体作り）など）</li> <li>・赤ちゃんが産まれた家に町内会から祝い金を出す（町内会登録をしてもらい情報を集める）</li> </ul>
<b>災害に強い地域づくり</b>
◎小学生も参加する防災訓練の実施
<b>防犯・交通安全のための環境及び体制の構築</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅周りを各自で掃除する「かどはき運動」を広める</li> </ul>
<b>わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の活動の情報発信・情報公開</li> <li>・民生委員を補完する町内会役員の選出</li> <li>・要支援者や介護者などの家族同士の交流・情報交換の場</li> </ul>

## 北小学校区

### 地域の概要

- 北小学校区は、面積約 109ha で全市の 4.3%を占める。
- 人口は平成 27 年 10 月 1 日現在、5,843 人、世帯数 2,575 世帯、世帯人員 2.27 人/世帯、人口は減少傾向、世帯数は微増傾向。
- 人口密度は 53.6 人/ha で、市全体(25.6 人/ha)よりも高い。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在の年齢 3 区分別人口では、0～14 歳が 12.0%、15～64 歳が 60.8%、65 歳以上が 27.2%、65 歳以上の高齢化率は市全体の 26.9%に比べてわずかに高い。



### 地域内の課題と問題点

◎：他の小学校区と同様の意見

地域福祉の課題	具体的な現状・問題点
世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり	◎アパート・マンション住民が、町内会に入らない ・町内会により、世帯数の差から活動の温度に差がある ・ご近所の入退院情報がわからない
地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保	・町内会は高齢者が多いため運営が困難 ・町内会に出ない人に対しては、どうすればよいかわからない ・民生委員の役割が知られていない
高齢者の生活支援と暮らしの質の向上	・巡回バスが使いにくい（ルートが少ない、大回りで不便） ・ひとり暮らし、老人クラブの会員以外の人はどう対象とするか ・高齢者は閉じこもりがちで熱中症などで死亡の危険性もある ・認知症の高齢者を地域でどう支えるか
地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり	◎子どもがいても、子ども会に入らない世帯の増加 ・子ども会活動は、夏・秋祭り程度で活発ではない
障がい者、外国人への理解促進と生活支援	・町内のゴミ出し規則を外国人、アパートの住民が守れていない ・日本語がわからないから町内会役員ができない ・災害時避難場所が遠いため、高齢者等移動が困難
災害や犯罪に強い安全安心な環境及び体制の構築	・高齢者と障がい者の親子世帯が心配 ・車で走って知らせるだけでは高齢者には聞こえずわかりにくい ・自転車の交通事故や右側通行・二人乗りが多い
その他	・ゴミと草の清掃活動が大変 ・空き地にゴミを捨てる人がいる ・お金になりそうなゴミを集める業者は怖くて声をかけにくい ・町内の道路が仮舗装のまま

## 地域福祉課題を解決するための取組アイデア

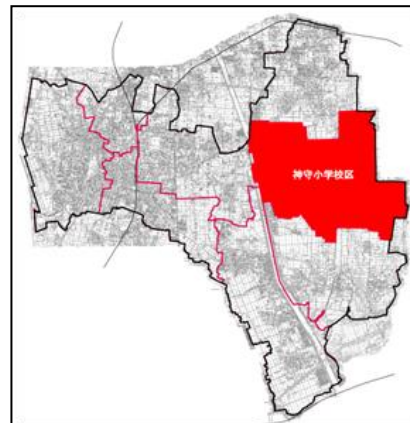
◎：他の小学校区と同様の意見

<b>世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を活用した地域の女性陣の運営による交流サロン</li> </ul> <p>◎小学校と老人クラブの交流の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティと各種団体がバラバラに動いているのでコミュニティに部会をつくって地域課題に対応</li> <li>・津島をあいさつあふれる街に！ (市全体であいさつ運動をすすめる、学区内に「あいさつしよう」の張り紙を)</li> </ul>
<b>高齢者の生活支援と暮らしの質の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスを小さい車にして、定年退職者にも協力してもらい運行 (「車の確保」「運転手の確保」「事故への対応」が条件)</li> <li>・カーシェアリングシステムの導入</li> <li>・近隣のゴミ出しお手伝い、見守り(プライバシーとおせっかいをどう両立するか)</li> <li>・関係機関の連携によるひとり暮らし高齢者の包括ケア</li> <li>・新聞配達や、ガスや電気の検針を活用した「見守りネットワーク」の構築</li> <li>・認知症カフェ、憩いの広場等の開設</li> <li>・地域の喫茶店にも常連さんにも「ひと声」協力をお願いする</li> <li>・食事の宅配時に特に支援を必要な人をケア</li> </ul>
<b>地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと地域の大人が知り合いになることで、防犯につなげる</li> <li>・子どもや親子で参加できる地域イベントの開催</li> </ul>
<b>災害に強い地域づくり</b>
◎災害時の安否確認を、防災訓練の時に訓練の一つとして実施
<b>防犯・交通安全のための環境及び体制の構築</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学、高校における自転車マナーの指導、自転車購入時に販売店での教習</li> <li>・高齢者向けの交通安全実習の実施</li> </ul>
<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを捨てている人を見かけたら周りの人が声をかける</li> </ul>

# 神守小学校区

## 地域の概要

- 神守小学校区は、面積約 474ha で全市の 18.9%を占める。
- 人口は平成 27 年 10 月 1 日現在、9,424 人、世帯数 3,655 世帯、世帯人員 2.58 人/世帯となっており、人口は微減傾向、世帯は微増傾向にある。
- 人口密度は 19.9 人/ha で市全体 (25.6 人/ha) より低い。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在の年齢 3 区分別人口では、0～14 歳が 12.8%、15～64 歳が 61.2%、65 歳以上が 26.0%となっており、65 歳以上の高齢化率は市全体の 26.9%に比べて若干低い。



## 地域内の課題と問題点

◎：他の小学校区と同様の意見

地域福祉の課題	具体的な現状・問題点
世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり	◎新しく転居してきた住民の状況やニーズが把握できない ・まとまりが弱く、町内行事がまとまらない ・そもそもコミュニティとは何なのか理解されていない ・祭参加を活用したいが「原則参加は個人の自由」の壁がある ・転入者の町内会入会時、町内行事の説明等丁寧に対応している
地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保	・町内会未加入者へのフォローはできない ・高齢者、障がい者、子どもの居住状況が把握できていない ・町内会費が上がるのが町内会退会のきっかけとなっている
高齢者の生活支援と暮らしの質の向上	・公共交通機関が少なく、買物や通院が大変 ・団地全体が高齢化している ・2・3世代の同居が少なく支え合いが難しい
地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり	・不審者情報もあり、登下校時の見守りが必要 ・中高生の不登校児向けの受け皿や、居場所づくりが不十分 ・安全な遊び場が足りない
障がい者、外国人への理解促進と生活支援	・外国人とはどう接したらよいかわからない、接する場がない ・外国人の方がゴミ出しのルールを把握できていない
災害や犯罪に強い安全安心な環境及び体制の構築	・避難場所の周知が徹底されていない ・過去に不審者が出た夜道の環境が改善されていない ・高校生の交通マナーはUPしてきたが、中学生は悪い ・塀が増えて見通しの悪い交差点が多く、通学にも危険！
わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実	・役所のどこに相談してよいかはっきりしない

## 地域福祉課題を解決するための取組アイデア

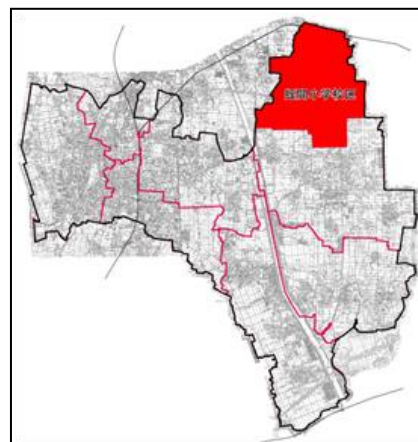
◎：他の小学校区と同様の意見

<b>世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新住民にも祭など町行事への参加を呼びかける（子どもを通じて呼びかける）</li> <li>・ 子ども会、集団登校が新旧住民の融和のきっかけとなる</li> </ul> <p>◎昔遊びを通じた子ども達（学校）と老人会の交流促進</p>
<b>地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会費はしっかりもらい、収支内容をはっきりと公開する</li> </ul>
<b>高齢者の生活支援と暮らしの質の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者が集まりやすいイベントの開催（高齢者向け誕生日会、歌声喫茶など）</li> </ul> <p>◎民間の宅配サービスなどを有効活用するための情報提供等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO やボランティア組織等による買物支援のための組織づくり（生協の共同購入のような）</li> <li>・ 電気メーターやパソコンなどによる見守りの仕組みづくり</li> <li>・ 公園における健康づくり、ラジオ体操</li> <li>・ 65歳の誕生日などに、健康・福祉などのサービス等に関する講座の開催&amp;受講の義務化</li> <li>・ 週に1回の買物支援</li> <li>・ 認知症防止の教室開催</li> </ul>
<b>地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者から子どもへ昔話を「語り部」で伝える（例：戦争体験）</li> <li>・ 学校からドロップアウトした青少年の居場所（集える場）づくり・学び直しの支援</li> </ul>
<b>障がい者、外国人への理解促進と生活支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者の災害時支援</li> <li>・ まずは知ることから＝障がい者施設の見学、交流を通じて理解を深める！</li> </ul>
<b>災害に強い地域づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社・工場・マンションを避難場所として了解を得る⇒地域交流にもつながる</li> </ul>
<b>防犯・交通安全のための環境及び体制の構築</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもを対象とした自転車講習実施</li> <li>・ 子ども会と老人クラブの合同交通安全教室の開催</li> <li>・ 地区交通安全協会による高齢者向け自転車指導</li> <li>・ 退職者を主とした自主防犯ボランティア活動</li> </ul>

## 蛭間小学校区

### 地域の概要

- 蛭間小学校区は、面積約 289ha で全市の 11.5%を占める。
- 人口は平成 27 年 10 月 1 日現在、5,816 人、世帯数 2,281 世帯、世帯人員 2.55 人/世帯となっており、人口は減少傾向、世帯数は変動なしである。
- 人口密度は 20.1 人/ha、市全体（25.6 人/ha）よりも低い。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在の年齢 3 区分別人口では、0～14 歳が 11.8%、15～64 歳が 56.3%、65 歳以上が 31.9% となっており、65 歳以上の高齢化率は市全体の 26.9% に比べて高い。



### 地域内の課題と問題点

地域福祉の課題	具体的な現状・問題点
世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり	・ 高齢者が多く、近所に子どもがいない
地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保	・ 地区社協という言葉はあるが活動できていない ・ 地域での福祉活動を行う事が大切
高齢者の生活支援と暮らしの質の向上	・ 徒歩圏内のみでは高齢者にとって買い物が不便 ・ 生活をするにあたり、自動車が必要不可欠 ・ 元気な高齢者がその他の高齢者を支える仕組みが必要 ・ 青塚町も毎週火曜にサロンを開催、認知症サポーター、介護予防等、内容も活発 ・ うまくいっているエリアとっていないエリアの差が大きい ・ 広報に支援サービス情報を乗せても、見ようもしないことも多い
障がい者、外国人への理解促進と生活支援	・ 蛭間は地域での繋がりがあがる
災害や犯罪に強い安全安心な環境及び体制の構築	・ 高齢者を狙った詐欺未遂が 3 件発生している ・ 泥棒が発生している ・ 嘱託職員が町内名簿を作成中（9 割が把握）
わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実	・ 市としてどのような活動を行っているのか、政策と成果が知られていない
その他	・ 空き家を管理する方が遠方に居住しており、防犯上問題がある

## 地域福祉課題を解決するための取組アイデア

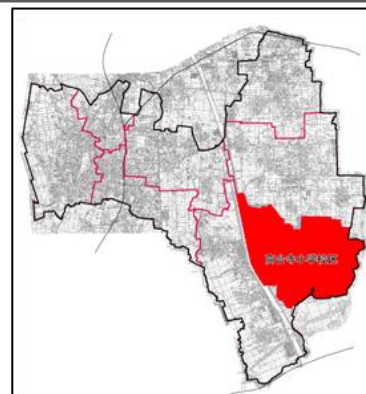
◎：他の小学校区と同様の意見

<b>世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東高校の生徒と、地域高齢者が触れ合える場を設ける</li> <li>・ かがやきネットなど、いろいろな団体の連携による地域行事の開催</li> </ul> <p>◎老人クラブと小学校の交流事業の継続・発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉協議会の仲介により、地域行事に高校生をまきこむ</li> <li>・ 老人クラブとコミュニティでグランドゴルフ      ・ 老人クラブの活動支援</li> </ul>
<b>地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包括支援センター・縁側サロン・ふれあいサロンの活用推進</li> <li>・ コミュニティが率先して行えることを明確化</li> <li>・ 地区社会福祉協議会をうまく立ち上げて連携する</li> </ul>
<b>高齢者の生活支援と暮らしの質の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的に訪問し、話し相手になる（スタッフは、市と住民）</li> </ul> <p>◎宅配サービスなどの既存の便利情報を町内活動で周知させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひとり暮らし高齢者に対する声かけやゴミ出しなど近所の連携体制づくり</li> <li>・ 青塚町のサロン事例について事業の成功・立ち上げまでのアイディア・方法の聞き取りを行う</li> <li>・ カーシェアリングの導入</li> <li>・ 老人クラブを増やす</li> <li>・ ひとり暮らし高齢者を対象とした食事会の開催</li> <li>・ 「困った時は包括へ！」包括との連携により相談・つなぎ</li> <li>・ 認知症高齢者を地域ぐるみで支える仕組みとして「認知症高齢者見守り隊」</li> </ul>
<b>障がい者、外国人への理解促進と生活支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅介護家族の「介護うつ病」への対策      ・ 認知症に関する勉強会の定期開催</li> <li>・ 家族が近所に積極的に知らせ、地域で支える</li> </ul>
<b>災害に強い地域づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひとり暮らし高齢者に対する校区の自主防災会での支援</li> </ul> <p>◎防災訓練の充実（自主防災、つしまかがやきネットなど）</p>
<b>防犯・交通安全のための環境及び体制の構築</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人会ふれあい講座での詐欺防止の啓蒙活動</li> <li>・ 防犯グッズ点検をかねた交流会開催</li> </ul>
<b>わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひとり暮らし高齢者対象のサービスの周知（緊急通報システムなど）</li> <li>・ ボランティア、福祉関係の総合的な支援機関としての地区社会福祉協議会の設立</li> </ul>

## 高台寺小学校区

### 地域の概要

- 高台寺小学校区は、面積約 369ha で全市の 14.7%を占める。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在、4,271 人、1,564 世帯、世帯人員 2.73 人/世帯、人口は微減傾向、世帯数は微増傾向にある。
- 人口密度は 11.6 人/ha、市全体（25.6 人/ha）よりも低い。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在の年齢 3 区分別人口は、0～14 歳が 12.4%、15～64 歳が 64.0%、65 歳以上が 23.6%となっており、65 歳以上の高齢化率は市全体の 26.9%に比べて低い。
- 伊勢湾台風の浸水被害はかろうじて免れたものの、小屋が吹き飛ばされたり、送電線の鉄塔が倒壊したりするなど甚大な被害に見舞われた。



### 地域内の課題と問題点

地域福祉の課題	具体的な現状・問題点
世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二世帯の場合、若者の地域活動参加が少なく地域への理解低い</li> <li>・すすく子ども会+地域イベントに未加入の子も参加できないか</li> </ul>
地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報が少ない</li> <li>・消防団の活動が少ない</li> <li>・要介護者、障がい者の情報が個人情報保護の関係から得られない</li> <li>・老人クラブがない地域があるので、作ってほしい</li> <li>・町内会費の未納世帯への対応を、できれば円満にしたい</li> </ul>
高齢者の生活支援と暮らしの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路環境が悪く、自転車での外出が危険</li> <li>・80 歳以上の高齢者は元気でも、活動に出たがらない</li> <li>・マンションなどで自治会が高齢者を把握できていない</li> <li>・高齢者が憩い、話し合う場所が欲しい（病院が憩いの場となっている）</li> </ul>
地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人と子どもが集まる事がない</li> <li>・子どもの遊び場が少ない</li> <li>・入学前に市外の幼稚園に通っている子が多いため、入学まで親同士の情報共有ができない</li> </ul>
障がい者、外国人への理解促進と生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人がゴミ収集の曜日をわからず捨てている</li> <li>・障がい者やその家族への声かけは遠慮やとまどいがある</li> </ul>
災害や犯罪に強い安全安心な環境及び体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い建物が少ないため、水害が起きた場合の避難場所が不安</li> <li>・公民館が避難場所としての機能を満たしていない</li> <li>・子どもの通学路の安全が心配</li> <li>・学校で避難や防災についての活動が少ない</li> </ul>
わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事に参加したくても、情報取得方法がわからない</li> </ul>



## 地域福祉課題を解決するための取組アイデア

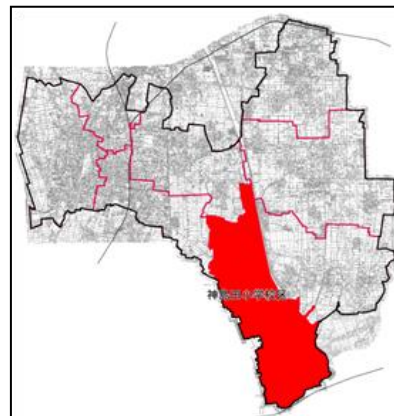
◎：他の小学校区と同様の意見

<b>世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動のメリットをPRし、多世代に参加を求める懇談会などを開催</li> </ul> <p>◎老人クラブと小学校の連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の草取り等を通じコミュニケーションの場づくり</li> <li>・将棋をもっとPRして、小学生から大人まで交流できる大会開催</li> </ul>
<b>地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市・社会福祉協議会との共催イベントを開催</li> </ul>
<b>高齢者の生活支援と暮らしの質の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館に憩いの場所を整備する（予算の問題で実現していない）</li> <li>・縁側（気軽に集まりやすい拠点）をつくる</li> <li>・小さな単位の集まり（サロン、茶話会など）をたくさんつくる</li> <li>・70歳以上の高齢者家庭の半強制的な登録制度づくり</li> <li>・生きがいクラブの活動実績を、他の団体・町内に広める</li> </ul>
<b>地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興（子ども同士がスポーツを通じて繋がることで、親同士もつながる）</li> <li>・未就学の母子の交流会開催</li> <li>・地域の高齢者や子育て中のお母さんが、気楽に集まれる場所として空き家を活用</li> </ul>
<b>障がい者、外国人への理解促進と生活支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語表記のゴミ捨てルールのチラシを配布したり、ゴミ捨て場において直接伝えたりする</li> <li>・発達障がい等に関する講演会の開催（以前、PTAで実施）</li> </ul>
<b>災害に強い地域づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族で防災について話し合うための質問形式の記入表や防災マニュアルを作る</li> <li>・ウォークラリーで避難場所（高台など）をまわる</li> <li>・災害時における地域内の連絡体制の明確化</li> </ul>
<b>防犯・交通安全のための環境及び体制の構築</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩や掃除などの時間を小学校の下校時に合わせ、子どもの見守りを同時に行う</li> <li>・子ども会、PTA、老人会などの協力による見守り活動</li> <li>・白浜地区の防犯パトロールと見守り隊の成功事例を全町に広める</li> </ul>
<b>わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市や社会福祉協議会の支援制度を理解してもらう説明会を、町内会・民生委員が協力し開催</li> <li>・相談連絡先一覧の作成（公的機関、支援組織、民生委員等）</li> <li>・老人クラブの茶話会など高齢者が集まる機会を活用した説明会・ミニ講演会の開催</li> </ul>

# 神島田小学校区

## 地域の概要

- 神島田小学校区は、面積約 419ha 全市の 16.7%を占める。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在、人口 7,747 人、2,945 世帯、世帯人員 2.63 人/世帯、人口は微減傾向、世帯数は微増傾向にある。
- 人口密度は 18.5 人/ha、市全体(25.6 人/ha)よりも低い。
- 平成 27 年 10 月 1 日現在の年齢 3 区分別人口では、0～14 歳が 14.0%、15～64 歳が 59.8%、65 歳以上が 26.2%となっており、65 歳以上の高齢化率は市全体の 26.9%に比べてわずかに低い。



## 地域内の課題と問題点

◎：他の小学校区と同様の意見

地域福祉の課題	具体的な現状・問題点
世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動をして参加者が高齢者ばかり</li> <li>・各イベントのPRが少ない</li> <li>・地域内の個人情報がいなければ対応できない</li> </ul>
地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の役職の後継者がいない</li> <li>・個人情報の情報漏れが心配</li> <li>・市から災害時支援が必要となる世帯の情報が得られない</li> </ul>
高齢者の生活支援と暮らしの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスはあるが、自家用車がないと市外への足がない</li> <li>・介護認定されると、外に向かう回数が減り話し相手が減る</li> <li>・老人クラブの日帰り旅行のバス代が上がり困っている</li> <li>・難聴者（高齢者）の増加により、会話の減少、ひきこもりの増加</li> </ul>
地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが少なく、集まることがなくなった</li> <li>・子育てサロンはあるが、情報が届いていない</li> <li>◎子ども会加入者減少、存続危機</li> <li>・住宅事情により町内の子ども人数バランスに問題あり</li> <li>・若い世代にとって相談窓口が分かりにくい</li> </ul>
災害や犯罪に強い安全安心な環境及び体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯のない場所があり、防犯上危険（メンテナンス経費も問題）</li> <li>・農道の事故が多い</li> <li>・なかなか防災イベントだけをやっても人が集まらない</li> <li>・防災訓練はメンバーが高齢化&amp;固定化している</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き工場のトタンや放置畑の雑草（落下や火災の危険性）</li> <li>・ゴミの収集所が少ない、学区以外からの不法投棄も多い</li> <li>・ゴミゼロ運動の時の袋の活用方法</li> <li>・ペットのフンの不始末が多い</li> </ul>

## 地域福祉課題を解決するための取組アイデア

◎：他の小学校区と同様の意見

<b>世代や居住歴をこえた顔のみえる関係づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や子どもの集まる機会を活用して意見を集約する工夫を！</li> <li>・自治会館や井戸端会議の場として町内集会所、連絡所等の有効利用</li> </ul> <p>◎三世代交流の機会であるふれあいフェスタの充実（小学生以下にも広げるなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会のボランティア参加で世代間の交流事業の実施</li> </ul>
<b>地域組織・活動への理解・参加促進と担い手の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独自治会でやりにくい、やりきれないことを広域・共同で実施</li> <li>・コミュニティセンターでの住民ニーズに合った取組を行う（例：七夕の短冊で生の声を拾う）</li> </ul>
<b>高齢者の生活支援と暮らしの質の向上</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職する人に、老人クラブやボランティアへの参加を呼びかける</li> <li>・近所の高齢者宅のゴミ出しを近隣で手伝える方が協力する</li> <li>・現在実施の友愛活動や配食ボランティアをさらに拡充する</li> <li>・新しい参加者が来たくくなるような新しい取り組み&amp;出やすくなる情報提供サポート</li> <li>・老人クラブの新設やメンバーの増加(100名増！)</li> </ul>
<b>地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制づくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援について、学校を通じて情報発信して地域で考える</li> <li>・神島田サポートとして行っている本の読み聞かせ・放課後の預かりなどの取組の充実</li> <li>・子どもの目線で「地域の安心・安全なまちを」というテーマのポスター、作文を募る</li> <li>・ママさん主体で子育ての集まりを！</li> <li>・町内会長等役員経験者に、ボランティア活動への協力を要請（お礼の言葉を伝える）</li> </ul>
<b>障がい者、外国人への理解促進と生活支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の子どもへの生活支援、教育支援、地域行事参加の呼びかけ</li> </ul>
<b>災害に強い地域づくり</b>
<p>◎楽しく学べる防災訓練に中高生の参加を募り、子ども達と協力して実施</p> <p>◎町内単位の防災体制の構築・防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者がどこに住んでいるのかを示したマップや名簿づくりで周知徹底</li> <li>・町内・班ごとの小さい単位で災害弱者情報を把握する取り組み（例：防災会で家族構成情報収集）</li> </ul>
<b>防犯・交通安全のための環境及び体制の構築</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市補助策の活用（防犯カメラ助成、家屋の地震対策助成）</li> <li>・高齢者向け交通安全教室の開催</li> <li>・防犯にも効果のある見守り隊の充実</li> <li>・交通安全教室を全小学校区で年1～2回実施</li> <li>・防犯教室効果を上げた小学校区の内容を全小学校区に展開</li> </ul>
<b>わかりやすい情報提供、窓口の明確化、支援体制の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院など高齢者が集まる場所での情報提供</li> <li>・相談窓口の明確化・一本化</li> </ul>